

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務、ベンチャーキャピタル業務、事務受託業務及びコンピュータシステム開発・保守・運用受託業務等を行っております。

当行グループは、銀行業務は「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務、ベンチャーキャピタル業務、事務受託業務及びコンピュータシステム開発・保守・運用受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	2023年9月期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	7,939	3,359	11,299	276	11,575	△22	11,552
セグメント間の内部経常収益	45	28	74	221	295	△295	—
計	7,985	3,387	11,373	497	11,870	△318	11,552
セグメント利益	734	110	845	72	917	△17	900
セグメント資産	1,334,013	18,860	1,352,873	29,069	1,381,943	△34,783	1,347,159
セグメント負債	1,280,257	11,990	1,292,248	27,587	1,319,835	△30,704	1,289,131
その他の項目							
減価償却費	321	11	333	9	342	—	342
資金運用収益	5,941	0	5,941	45	5,987	△32	5,955
資金調達費用	53	40	94	3	98	△14	83
持分法投資利益	—	—	—	12	12	—	12
持分法適用会社への投資額	—	—	—	135	135	—	135
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	834	0	835	13	848	—	848

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- セグメント利益の調整額△318百万円は、セグメント間消去等です。
- セグメント資産の調整額△34,783百万円は、セグメント間消去です。
- セグメント負債の調整額△30,704百万円は、セグメント間消去です。
- 資金運用収益の調整額△32百万円は、セグメント間消去です。
- 資金調達費用の調整額△14百万円は、セグメント間消去です。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	2024年9月期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	8,275	3,126	11,402	227	11,630	△0	11,629
セグメント間の内部経常収益	29	31	61	363	424	△424	—
計	8,304	3,158	11,463	590	12,054	△424	11,629
セグメント利益又は損失 (△)	1,332	200	1,533	△22	1,511	△0	1,511
セグメント資産	1,231,437	17,266	1,248,704	25,247	1,273,951	△30,647	1,243,303
セグメント負債	1,189,797	11,528	1,201,325	23,754	1,225,080	△26,442	1,198,637
その他の項目							
減価償却費	394	11	405	24	430	—	430
資金運用収益	6,143	0	6,144	40	6,184	△15	6,168
資金調達費用	238	46	284	3	288	△16	272
持分法投資利益	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	118	0	118	7	125	—	125

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業、事務受託業務及びコンピュータシステム開発・保守・運用受託業務等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。
- セグメント利益又は損失の調整額△0百万円は、貸倒引当金戻入の調整です。
 - セグメント資産の調整額△30,647百万円は、セグメント間消去です。
 - セグメント負債の調整額△26,442百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金運用収益の調整額△15百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金調達費用の調整額△16百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2023年9月期			2024年9月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	5,870	17	5,887	5,890	15	5,905
資金運用収益	5,923	18	5,941	6,128	16	6,143
資金調達費用	53	0	53	238	0	238
役務取引等収支	895	△0	895	904	0	904
役務取引等収益	1,656	—	1,656	1,671	0	1,671
役務取引等費用	761	0	761	766	—	766
その他業務収支	73	55	128	60	87	148
その他業務収益	657	55	712	562	87	649
その他業務費用	583	—	583	501	—	501
業務粗利益	6,838	73	6,912	6,855	102	6,958
業務粗利益率	1.07%	3.51%	1.08%	1.11%	6.81%	1.12%

- (注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は、特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。
2. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息でございます。
3. 業務粗利益率＝業務粗利益／資金運用勘定平均残高×100×365／183

業務純益

(単位：百万円)

	2023年9月期	2024年9月期
業務純益	1,089	1,516
実質業務純益	1,089	1,516
コア業務純益	1,102	1,541
コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）	1,102	1,541

業務純益

1. 業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）
業務収益＝資金運用収益＋役務取引等収益＋その他業務収益
業務費用＝資金調達費用＋役務取引等費用＋その他業務費用＋一般貸倒引当金繰入額＋経費（臨時的経費を除く）
2. 実質業務純益＝業務純益－（一般貸倒引当金繰入前）
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益